

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
企画部	総合交通政策課	交通政策係, 交通管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	08	19	自転車のまちづくり推進に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	10,333千円	7,434千円	3,123千円	0千円
総人件費	4,977千円	4,872千円	6,211千円	
総事業コスト	15,310千円	12,306千円	9,334千円	

事務事業名	01 自転車のまちづくり推進事業			指標名	歩行者・自転車・自動車が共生できていると感じる割合				指標種別	成果指標	指標の概要	「ひと・自転車・クルマの共生できるまち つくば」の実現度を点検・評価するための指標として設定						
	戦略プラン	6	1	交通移動体系の整備	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度	H32年度				
	-	-	-		実績	52%	-	-										
総合戦略	-	-	-		H27年度				H28年度				その他の指標	-				
改善目標					改善目標	「自転車安全利用促進条例」及び「自転車安全利用促進計画」の普及広報活動を充実させる。普及広報活動として4半期ごとに1回以上、年4回以上のイベントを実施する。								改善目標	自転車の安全利用を啓発するため、関係機関との連携を強化するとともに、日常的な普及広報活動に力を入れていく。			
個別計画	つくば市自転車安全利用促進計画				事業計画	自転車安全利用促進条例等の普及広報活動として年4回以上のイベントを実施する。 第1四半期:春の交通安全キャンペーン(5月6日・9日) 第2四半期:自転車安全利用促進条例大会(7月26日) 第3四半期:秋の交通安全キャンペーン(11月) 第4四半期:自転車安全利用促進めぐりえ大会(2月)								事業計画	・自転車安全利用に関するキャンペーン等を四半期ごとに実施する。 ・関係機関との連携を図るネットワークの構築を図る。 ・日常的に自転車の安全利用を推進する市民を育成する。			
根拠法令等	「つくば市自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」(平成26年4月,つくば市)				活動実績	自転車安全利用促進条例等の普及広報活動として年4回以上のイベントを実施した。 第1四半期:春の交通安全キャンペーン(5月6日・9日) 第2四半期:自転車安全利用促進条例大会(7月26日) 第3四半期:秋の交通安全キャンペーン(12月) 第4四半期:自転車安全利用促進めぐりえ大会(2月)								上半期活動実績	-			
事業分類	A 任意的事業				成果	多様なイベントを通して、幅広い年齢層に自転車の安全利用に関する普及広報の実施ができた。								上半期成果	-			
執行体制	一部委託				課題	市民の日常的な自転車の利用状況を見ると、安全利用がされていない状況が多いため、さらなる周知と啓発が必要である。								課題	-			
事業の目的	環境に優しく、健康増進にもつながる自転車を市内の重要な交通手段の一つとして位置づけ、クルマから自転車への転換を推進するため。				事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	H29年度当初積算根拠		-			
事業の概要	自転車の安全で適正な利用を促すことを重点に、つくば市自転車安全利用促進計画に基づく取組を進める。				評価	有効性	中:適切な成果が得られている						評価	有効性	-			
ISO 14001 関連性	環境性			評価	効率性	中:適切な費用対効果が得られている						評価	効率性	-				
				評価	総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施						評価	総合評価	-				
												H29年度当初積算根拠		理由	-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	332,386千円	343,076千円	429,344千円	0千円
総人件費	17,541千円	19,582千円	24,600千円	
総事業コスト	349,927千円	362,658千円	453,944千円	

部等名	課等名	係等名
企画部	総合交通政策課	交通政策係, 交通管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	08	04	01	15	公共交通対策に要する経費

事務事業名	01 コミュニティバス「つくバス」運行事業			指標名	コミュニティバス利用者数(1便当たり)				指標種別	成果指標	指標の概要	その他の指標	
	戦略プラン	6	1	交通移動体系の整備	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度
				実績	10.0人/便	10.0人/便	10.0人/便	10.0人/便	10.0人/便	10.0人/便	10.0人/便		
					7.4人/便	7.8人/便	-						
総合戦略				H27年度				H28年度					
				改善目標	年間利用者数880,000人を維持又は増加させる。				改善目標	引き続き利用者数を増加させること及びつくバス運行サービスの持続可能性を高めること。			
個別計画				事業計画				事業計画					
					TXダイヤ改正による時刻表の見直し, また, 利用状況等により, 停留所の新設などを行い, 利便性の向上及び利用者の拡大を図る。なお, 時刻表の見直し, 停留所の新設・移設については, 公共交通活性化協議会において承認を経て, 国に申請して認可を得る必要がある。公共交通活性化協議会は, 5月・7月・9月・12月・2月に開催を予定している。					安全な運行に努めるとともに, 利用者の利便性の向上を図るために, パスロケーションシステム及び交通系ICカードの導入に取り組み, 利用促進につなげる。			
事業分類				活動実績				上半期活動実績					
					利便性向上のために時刻表の見直し及び停留所の新設や移設を行い, 利用者の拡大を図った。また, 運行に関する情報を細やかに提供し, 円滑な利用ができるように努めた。公共交通活性化協議会を年5回開催し, 公共交通に関する協議等を実施した。					-			
事業の目的				成果				上半期成果					
					利用者数の増加につながっており, 公共交通としての持続可能性を高めている。					-			
事業の概要				課題				課題					
					引き続き利用者数の増加に努めること及びつくバス運行サービスの持続可能性を高めること。					-			
				事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-		
				有効性	高: 成果が向上(高水準を維持)している				有効性	-			
				効率性	中: 適切な費用対効果が得られている				効率性	-			
				総合評価	A: 成果を維持して継続実施				総合評価	-			
ISO 14001 環境関連性				評価				評価				H29年度の方向性	理由
					-					-			

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
事業費(A)	221,400千円	199,355千円	269,733千円	0千円
国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
一般財源	221,400千円	199,355千円	269,733千円	0千円
人件費(B)	8,011千円	7,840千円	9,128千円	
正職員	従事割合	1.00人	1.00人	1.20人
正職員	時間外勤務	154.00時間	154.00時間	80.00時間
臨時職員等		有	有	有
事業コスト(A+B)	229,411千円	207,195千円	278,861千円	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	332,386千円	343,076千円	429,344千円	0千円
総人件費	17,541千円	19,582千円	24,600千円	
総事業コスト	349,927千円	362,658千円	453,944千円	

部等名	課等名	係等名
企画部	総合交通政策課	交通政策係, 交通管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	08	04	01	15	公共交通対策に要する経費

事務事業名	02 デマンド型交通「つくたく」運行事業			指標名	デマンド交通利用者数				指標種別	成果指標	指標の概要	デマンド型交通「つくたく」の年間利用者数(全地区累計)		
	戦略プラン	6	1	交通移動体系の整備	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度	
				実績	50,865人	48,544人	-							
総合戦略	-	-	-	-	H27年度				H28年度				その他の指標	-
	-	-	-	-	改善目標	運行方法や予約方法の改善を図ることにより, 年間利用者数51,000人とする。				改善目標	平成28年度以降のつくたくサービスの運行及びエリア設定の在り方について検討をすることで, 利用者数を増加させる。			
個別計画	つくば市地域公共交通網形成計画			事業計画	継続して運行を行うとともに, 実証運行の最終年度に当たることから, 平成28年度以降のつくたく運行のあり方を見据え, 検証及び方向性の検討を行う。 なお, 利用者の利便性を向上させるため, キャンセル待ちサービスを6月から, つくたくの供給量拡大のために1時間複数便運行体制を7月から開始する予定である。				事業計画	利用促進のために, つくたくに関する普及広報活動を実施する。また, 平成29年度以降のつくたくの在り方について整理し, 施策の方向性を定める。				
根拠法令等	-				活動実績	実証運行の最終年度に当たることから, 平成28年度以降のつくたく運行のあり方を見据え, 検証及び方向性の検討を行った。 利用者の利便性を向上させるため, キャンセル待ちサービス及びつくたくの供給量拡大のために1時間複数便運行を実施した。				上半期活動実績	-			
事業分類	E 補助金・負担金事業			成果		利用者数は微減傾向にあるが, キャンセル待ちサービス等の新規サービスを導入し, 利便性の向上に努めた。					上半期成果	-		
執行体制	一部委託				課題	利用者数が微減傾向にあるため, つくたく運行事業の在り方及び費用対効果等についての検討が必要である。				課題		-		
事業の目的	市内公共交通網の幹線である路線バス等を補完する支線として, バスへの接続を担うとともに, 交通弱者をはじめとした市民の日常生活を支える交通手段を確保するため。			事業の進捗状況		達成	目標の進捗状況	未達成	事業の進捗状況		-	目標の進捗状況	-	
事業の概要	5地区(筑波地区, 大穂・豊里地区, 桜地区, 谷田部地区, 荳崎地区)において, 平日(年末年始を除く)の9～16時台にデマンド型交通を運行する。			評価	有効性	中: 適切な成果が得られている			評価	有効性	-			
					効率性	低: 費用対効果が低下(低水準を維持)している				効率性	-			
					総合評価	D: 費用対効果を向上させる必要有り				総合評価	-			
ISO 14001 関連性	-			H29年度当初積算根拠	-				H29年度の方向性	-				
			理由				-							

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
企画部	総合交通政策課	交通政策係, 交通管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	08	04	01	15	公共交通対策に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	332,386千円	343,076千円	429,344千円	0千円
総人件費	17,541千円	19,582千円	24,600千円	
総事業コスト	349,927千円	362,658千円	453,944千円	

事務事業名	03	地域公共交通網形成計画進行管理業務	指標名	施策の進捗状況把握率				指標種別	成果指標	指標の概要	進捗状況を把握した施策数/計画に掲げた全施策数			
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度		
戦略プラン	-	-	-	-	-	100%	100%	100%	100%	100%				
総合戦略	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
個別計画	つくば市地域公共交通網形成計画		改善目標	H27年度				H28年度						
根拠法令等	「交通政策基本法」 「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」		事業計画	-				「つくば市地域公共交通網形成計画」を推進する。 ・市民アンケート等を実施し、「つくば市地域公共交通網形成計画」の点検・評価を実施する。 ・つくば市及び近隣自治体(下妻市, 桜川市, 筑西市等)と地域公共交通の広域連携に向けた調査等を実施する。 ・公共交通活性化協議会の運営, 都市交通センターとの連携, 空港利用促進協議会等への参加協力を図る。						
事業分類	C 義務的事業		活動実績	市民や公共交通利用者にアンケート調査を行うとともに, 地域公共交通事業の方針の検討や「つくば市地域公共交通網形成計画」の策定を行った。				上半期活動実績						
執行体制	一部委託		成果	公共交通の現況分析及び市民並びに公共交通利用者を対象としたアンケート調査を実施し, つくば市公共交通活性化協議会における審議を経て, 「つくば市地域公共交通網形成計画」の策定を行った。				上半期成果						
事業の目的	つくば総合都市交通体計画系及びつくば市のまちづくりの方針と連携し, 利便性が高く, 持続可能な公共交通網の実現を図るため。		課題	「つくば市地域公共交通網形成計画」を着実に実施していく必要がある。				課題						
事業の概要	つくば市公共交通網形成計画に掲げられた施策を着実に実行し, 目標を達成していくために, 交通政策の企画・調整及びアンケート調査等による計画全体の目標達成状況の点検, 評価, 改善等を行う。		事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	-		事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-			
ISO 14001	-	-	評価	有効性	高: 成果が向上(高水準を維持)している			有効性	-					
環境	-	-	評価	効率性	高: 費用対効果が向上(高水準を維持)している			効率性	-					
関連性	-	-	評価	総合評価	S: 成果・費用対効果を維持して継続実施			総合評価	-					
事業実施コスト											H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
事業費(A)											-	22,894千円	21,144千円	0千円
国庫支出金											-	1,900千円	2,800千円	0千円
県支出金											-	0千円	0千円	0千円
地方債											-	0千円	0千円	0千円
その他特財											-	0千円	0千円	0千円
一般財源											-	20,994千円	18,344千円	0千円
人件費(B)											-	2,416千円	6,157千円	
正職員											-	0.30人	0.80人	
時間外勤務											-	70.00時間	80.00時間	
臨時職員等											-	無	無	
事業コスト(A+B)											0千円	25,310千円	27,301千円	
H29年度当初積算根拠											-			
H29年度の方向性											-	理由	-	